

令和4年度入学試験問題

地理歴史

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、全部で27ページある。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などが
あった場合は申し出ること。)

問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。

世界史	1～8ページ
日本史	9～16ページ
地理	17～27ページ

- 3 解答用紙は、問題冊子とは別になっている。
- 4 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 5 受験番号は、各解答用紙の指定された2箇所に必ず記入すること。
- 6 解答時間は、90分である。
- 7 問題冊子および下書き用紙は、持ち帰ること。

世 界 史

1

次のA～Fの文章を読み、問1～問5に答えよ。

- A トロヤヌス帝のときに帝国の領土は最大になった。ダキア戦争での勝利を記念し「トロヤヌスの記念柱」が建立されたが、その台座に記された碑文の書体は、現在のアルファベット大文字とほぼ同じものである。
- B 初めて皇帝の称号を採用した政は、強力に中央集権化を推し進めていった。その際に、長く続いていた分裂の時代に各地で独自の書体が使われていた状況に対する策として、^(a)文字の統一を行った。この書体が篆書(小篆)と呼ばれるものである。
- C 中王国時代において、ファラオの権力を支えるため、官僚機構の整備は重要な課題だった。官僚を育成するため書記養成学校が設けられ、富裕民は子弟をそこに通わせた。この時代に学校の教科書として作成されたらしい『ドゥアケティの教訓』という作品では、父親が息子にむかって、^(b)文字を学んで書記になれば立身出世できるのでしっかり勉強するようにとさとす様子が描かれている。
- D 書聖といわれる王羲之は、東晋の政治家でもあった。しかし、中央の要職に任命されても就任を固辞することが多く、地方転出を願い、^{かいけい}会稽の地に赴任した。彼はここで書道史上最も有名な作品の一つである「蘭亭序」を執筆した。

E ローマ・カトリック世界を担うという立場にありながら、カール大帝時代の

(c)多くの聖職者は十分な教養を備えておらず、ラテン語も完全には修得していなかった。カール大帝は、学問の重要性を強調し、多くの本を書き写させた。その際、当時普及してきた「カロリング小文字字体」と呼ばれる書体がその作業を正確に行う上で役に立った。

F 殿王は神意を占って重要な国事を決定した。占いは、占いに用いる素材を加熱し、その結果生じたひび割れの形を見て吉凶を判断するものであった。占い

の内容や吉凶の判断、また占った通りのことが実際に生じたかどうかなどが、

(d)その素材に記された。近年の研究では、ひび割れの形をある程度コントロールすることができたと説くものもあり、占いによって政策を決定していたというよりも、占いを利用して政治を行っていたという実態だったのかもしれない。

問 1 A～F の出来事を時代が古い順にならべよ。解答にあたっては、A～F のアルファベットを用いよ。

問 2 下線部(a)の時代の中で、紀元前5世紀末以降の、自ら王を称する諸侯が増えた時代を何というか。

問 3 下線部(b)に関連して、Cの時代にCの文明で用いられていた文字を解読する手がかりとなった遺物で、ナポレオンの遠征中に見つかったものは何か。また、その遺物に記されていた三種類の文字を答えよ。

問 4 下線部(c)に関連して、カール大帝の国がいかにしてローマ・カトリック世界を担う立場に至ったのか、メロヴィング朝が始まってからカール大帝が没するまでの、ローマ・カトリック教会と関係する出来事について 260 字以内で説明せよ。

問 5 下線部(d)に関連して、古いに用いられた素材に記すために使われた文字は何と呼ばれているか。

2 次のA～Bの文章を読み、問1～問8に答えよ。

A 漢の武帝は匈奴を撃退し、衛氏朝鮮を滅ぼして ア など四郡をおき、
(a) ベトナム北部も支配下におくなど大規模な戦争をおこなったが、その負担によって漢は財政難となった。武帝の時代には董仲舒の提案によって イ
が官学とされ、紀伝体で記された ウ の『史記』は、その後の歴史書に大
(b) (c) きな影響を与えた。

B 清は1689年に、ロシアとのあいだに エ 条約を結んで国境を定めた。
(d) 朝鮮や琉球とは朝貢関係を結び、西洋諸国とは広州で貿易を行っていた。
(e) イギリスは1792年に オ を派遣して、広州以外での貿易を求めたが、乾隆帝は認めなかった。19世紀になるとアヘンの密貿易が増加し、イギリス
(f) (g) とのあいだでアヘン戦争が発生した。

問1 空欄 ア ~ オ に適当な語句を入れよ。

問2 下線部(a)に関連して、大月氏と同盟するため西域に派遣された人物の名前を記せ。

問3 下線部(b)に関連して、紀伝体とはどのような歴史書の書き方であるか、簡潔に説明せよ。

問4 下線部(c)に関連して、宋の司馬光によって記された歴史書の名称を記せ。

問5 下線部(d)に関連して、清の統治について、次の語句をすべて用いて80字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

科挙 文字の獄 番髪

問 6 下線部(e)に関連して、朝鮮王朝の支配者層を何と呼ぶか、名称を記せ。

問 7 下線部(f)に関連して、アヘン取締りのために清朝から派遣され、外国商人からアヘンを没収した人物の名前を記せ。

問 8 下線部(g)に関連して、1842年に清とイギリスとのあいだで結ばれた条約名を記せ。

3 次の文章を読み、問1～問7に答えよ。

以下にあげた史料は、アメリカ合衆国大統領 ア が1918年1月に発表した十四か条の一部である。

一、平和の盟約が公開のうちに合意された後は、外交はつねに正直に、公衆の
^(a) 見守る中で進められねばならず、いかなる私的な国際的了解事項もあってはならない。

二、領海外の公海においては、戦時、平時を問わず、完全な航行の自由が認められなければならない。……

五、すべての植民地に関する要求は、自由かつ偏見なしに、そして厳格な公正さをもって調整されねばならない。主権をめぐるあらゆる問題を決定する際には、対象となる人民の利害が、主権の決定を受けることになる政府の公正な要求と平等の重みをもつという原則を厳格に守らねばならない。

六、ロシア領内からすべての軍隊は撤退しなければならない。……

一四、大国と小国とを問わず、政治的独立と領土的保全とを相互に保障することを目的とした明確な規約のもとに、国家の一般的な連合が樹立されねばならない。

(出典：歴史学研究会編『世界史史料』10、岩波書店)

この十四か条が、翌年、パリで開かれた第一次世界大戦の講和会議の基礎となつた。パリ講和会議の結果、連合国と、ドイツ・オーストリア・オスマン帝国など旧同盟国との間に一連の講和条約が結ばれ、イ 体制とよばれる国際秩序がうまれた。

問1 空欄 ア ~ イ に適当な語句を入れよ。

問2 下線部(a)は「ウ の廃止」と称される項目である。空欄 ウ に適当な語句を入れよ。

問 3 下線部(b)に関連して、朝鮮ではこの十四か条にも刺激され、1919年に独立を求める 工 運動がおき、 オ には大韓民国臨時政府がつくられた。空欄 工 ~ オ に適当な語句を入れよ。なお、 オ には都市名が入る。

問 4 下線部(c)に関連して、1917年11月(ロシア暦10月)に権力を掌握したソヴィエト政権は第一次世界大戦にどのように対応したか、次の語句をすべて用いて、100字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

平和に関する布告 プレスト＝リトフスク条約

問 5 下線部(d)の提案はパリ講和会議で具体化され、新たな国際機構が設立された。この国際機構の名と、その本部がおかれた都市の名を記せ。

問 6 下線部(e)に関して、第一次世界大戦の主要参戦国では、食料の配給制、女性の軍需産業への動員など、人や資源を戦争に全面的に動員する体制がつくれられた。こうした体制のことを何というか、名称を記せ。

問 7 下線部(f)に関して、オスマン帝国は第一次世界大戦後に解体し、アナトリアにはトルコ共和国が成立した。その初代大統領ムスタファ＝ケマル(ケマル＝アタチュルク)のもとで進められた改革政策について60字以内で説明せよ。